

企業が地元と提携して維持管理労力を提供、自然体験の場にも活用

40. ライオン山梨の森【山梨県山梨市】

範	囲	山梨県の北東部に位置する本市の水口地内の林地約 65ha																									
所	在	山梨県山梨市水口																									
生	物	地	理	区	分	コナラ林(東日本)																					
環	境	要	素	人工林()、二次林																							
自然条件	地	形	本市の北部は山岳・丘陵地帯、南部には 笛吹川左岸に平坦地、右岸は平坦地から 丘陵地帯が広がり、北部には秩父山系 などの山々が連なる。			撮影時期：2007年10月 対象地の入口付近にある「ライオン山梨の森」看板																					
	植	生	・	生			物	等	本地域は、面積の約8割を森林が占め、 甲武信ヶ岳に代表される秩父山系や西 沢渓谷など北部の山々、乙女高原や小 樽山など、緑豊かな自然環境に恵まれて いる。																		
社会条件	人	口	(市町村)	36,796人(農家率19.3%、主業農家と副業的兼業農家が多い) 山梨市のデータ(H22年)																							
	土	地	利	用	市総面積の7.0%が田畑、81.7%が山林である。 山梨市のデータ(H22年) 対象地区は、山梨市の市有林である。																						
	歴	史	・	文	化	本市には、国宝清白寺仏殿ほか、重要文化財を有する窪八幡神社、中牧神社、旧坂本家住宅、吉祥寺、大嶽山那賀都神社、室伏学校など数多くの文化財が存在し、歴史と文化の香り豊かな落ち着いた雰囲気醸し出している。																					
法 指 定 、 行 政 に よ る 評 価 の 状 況	自	然	環	境	・	景	観	保	全	や	国	土	保	全	に	関	わ	る	地	域	指	定	等	該当なし			
	す	ぐ	れ	た	自	然	、	景	観	、	伝	統	文	化	な	ど	と	し	て	の	選	定	該当なし				

ライオン山梨の森				
取組主体	タイプ	NPO企業等：NPO・企業・学校等地域の外からの参加者が中心となった取組		
	主な主体	名称	概要	
		ライオン株式会社	企業(本社は東京都墨田区)	
経緯	森林整備への企業参画を促進する山梨県の「企業の森推進事業」の第1号として、平成18年8月、ライオン(株)、峡東森林組合と山梨市にて協働で整備を行う森林整備協定を締結し、命名権により「ライオン山梨の森」と名付けられた。ライオン(株)からの支援費用等を使い伐採・搬出・植栽の森林整備を実施している。			
支援措置	該当なし			
取組の目的・目標	森林の持つ土壌保全効果を高めるとともに、都市との交流による地域の活性化を図る。			
取組分野内容	農林業を通じた里山や草地の利用(管理)の維持・活性化	該当なし		
	バイオマスなど新たな資源としての利用	【対象となる資源】 樹木 「ライオン山梨の森」内のアカマツが、近年、松くい虫の被害が拡大しているため、ライオン(株)による出資金等を利用して、アカマツを伐採して新たな別の樹種を植栽している。その伐採材を紙の原料に変えるために木材チップ工場へ材を搬出している。 ライオン(株)はそこで作られた紙を購入し、会社案内のパンフレット等の用紙として利用している。また、伐採箇所にはヒノキ等の植栽を行っている。このように対象地内の材を再利用することにより、資源循環を形成している。		
	環境教育や自然体験、エコツアーリズムの場としての利用	自然観察会	ライオン社員による森林ボランティア体験活動にて、動植物を観察。	
		環境教育・学習活動	森林ボランティア体験活動にて、間伐の意味等学習。地元小学生による植樹を通しての環境教育。	
		里地里山体験・環境保全	森林ボランティア体験活動にて、荒廃している森の間伐等による森林育成を通しての環境保全活動。	
		農林業体験活動	森林ボランティア体験活動にて、間伐・枝打・作業道作り等。	
		エコツアー		
		その他		
	野生動植物やその生息地の保全・管理	ライオン(株)とNPO法人アースウォッチジャパンの共同による生物多様性調査を実施している。		
	地域の良好な景観の保全・修復	該当なし		
里地里山の伝統的な生活文化の知恵や技術の継承	対象	生活行事	【文化財指定】	
		資源利用技術		
		その他		
	該当なし			
連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> ・ライオン(株)社員による森林ボランティア体験活動を年3回実施している。 ・ライオン(株)社員と地元小学生との植林作業を実施。 ・山梨県森林総合研究所・自然教育研究センター・峡東森林組合へ各イベントの講師を依頼。 ・地元「水口地区元気な邑づくり推進協議会」の協力による、ほうとうづくりや野菜収穫等の地元との交流を図るプログラムを実施。 ・市は、各イベントへスタッフとして参加。 			



撮影時期：2007年10月
 対象地の中腹の広場の様子。
 ここを中心に間伐体験等を実施している。

撮影時期：

景観としての
 利用・評価

不明

取組の特徴

フィールドを総合的に活用した多様なプログラムが好評であり、地域活性化にも寄与している。
 企業が地元森林組合、市と協働で整備を行う森林整備協定を締結、命名権により「ライオン山梨の森」と名付け、企業からの支援費用等を使い伐採・搬出・植栽の森林整備を実施している。社員による森林ボランティア体験活動、社員と地元小学生との植林作業などを実施。その際、山梨県森林総合研究所・自然教育研究センター・地元森林組合が講師を派遣。また、地元の「水口地区元気な邑づくり推進協議会」の協力による、ほうとうづくりや野菜収穫等の地元との交流を図るプログラムも行っている。

【参照資料】

ライオン株式会社HP (<http://www.lion.co.jp/index2.htm>)

関東農政局 HP (<http://www.maff.go.jp/kanto/index.html>)

「山梨市・牧丘町・三富村 新市まちづくり計画」(山梨市・牧丘町・三富村合併協議会)